

## 水と私

みなさんは「水」のことをどう思いますか？「生きていく上で必要」「周りにいくらでもある」いろんな意見が出てくると思います。どれも正確でまちがっていないけど、人それぞれ「水」について思うことはちがうでしょう。私は「水」のことを「つねに人のとなりにいる存在」だと思っています。「水がなければ私たちは生きていけない」これはだれもが感じることで、あたりまえのことです。水と生物は、昔も今もとても身近な存在なのです。しかし、「水」というのはいい面ばかりではありません。温暖化による水面上昇や、洪水や津波などの災害など、「水」というものは、私たち生物の敵になる場合もあります。私たちはうまく「水」というものと共存していかないけません。

私の住んでいる山添村は美しい自然であふ

山添村立山添中学校 二年

馬籠 結衣

れています。私たちは昔からこの多くの自然と共に時間を歩んできました。私の家の近くにも、とてもきれいな水が流れています。川と呼ぶには小さいのですが、そこにはかにや小さな魚などさまざま生物が生きています。私はこの場所に初めていったとき、「とても不思議な所だなあ。」と思いました。こんなきれいな場所をあまり見たことがなかったし、時間がとてもゆっくりすぎていくような気がしました。人が手を加えていなくても、世界は美しく生きていくということが、このとき初めてわかりました。

しかし、私たち人間が生きていくためには、こういった自然だけでは無理なのです。私は小学生のときにダムや浄水場を見に行ったことがあります。飲み水を確保し、川のはんらんを防ぐダム、水をきれいにする浄水場、こ

のような施設も必要なのです。

私はときどき思うことがあります。私たちはこの地球に存在してもいいのだろうか。何も人の手が加えられていけない、昔のままの自然あふれる地球が一番よかったです。私たちが存在しなければ温暖化になることも、自然がはいさされることもなかったのではな

いか。しかし、私たちはこうして地球に存在しています。地球を苦しめているのも人間、ですが地球を救えるのも人間です。そのためには「水」とどのように接するかが、大きな課題だと思っています。

世界では、きれいな水が飲めない人々や、川などが汚せんきれいな水が飲めない人々や、このような問題が起っている今、私たちに何ができるのでしょうか。

一つ目は、毎日使っている「水」に感謝することだと思っています。何も考えずに毎日きれいな水が使えるのは、とても恵まれていて、とだと思いません。そのことに感謝し、水をむだ使いせず、汚せん防止にとめていきたいです。

二つ目は、地域のクリーンキャンペーンに積極的に参加することです。私たちの村には布目ダムがあります。この水は奈良市に送られていくのですが、ダムの周りにはゴミがた

くさん捨てられていきます。ダムにかぎらず、森の中や道にまで捨てられています。美しい自然を守るためにも、こういった活動にはできるだけ参加したいです。みなさんは「何の解決にもなっていない」「意味がない」と思われるかもしれませんが、ですが、これが私のいま一番の答えです。みなさんも、自分なりの答えを見つけてみてはいかがですか。